

山梨県立ろう学校第2回学校運営協議会 協議結果等について

日時：令和7年10月23日（木） 10：00～12：00

場所：山梨県立ろう学校 文化交流会館 交流ホール

<次第>

- 1 はじめの言葉（司会）
- 2 会長あいさつ
- 3 学校長あいさつ
- 4 議事 <議長：会長>
 - （1）令和7年度ろう学校「学校に関するアンケート」および学校中間評価について（教頭）
 - （2）その他
- 5 報告
 - （1）東京2025デフリンピックについて（校長）
 - （2）その他
- 6 連絡事項
 - （1）次回の予定 2月25日（水）14：00～ 第3回 学校運営協議会
 - （2）その他
- 7 熟議～ろう学校への提言～（各委員の方々と）
- 8 閉会の言葉（司会）

※協議会終了後に給食の試食会を実施（希望者）

<会長あいさつ>

- ・東京ではデフリンピックのPRが多く、いよいよ開催が近いと感じる。
- ・中間報告を確認し、よりよい取り組みができると良い。

<学校長あいさつ>

- ・運動会が行われた。また、今後は芸文祭に参加する予定。
- ・デフリンピックについては、本校に関係のある選手を招いて学習を行った。本番では実際に会場に応援に行ったり、パブリックビューイングを開催したりする予定。生徒デザインのTシャツも作成。
- ・コーヒー販売を通して本校を広報（パッケージの二次元コードを読み取るとHPに飛ぶように工夫）している。
- ・全国聾学校陸上大会では良い交流ができた。

- ・フードドライブの取り組みに御協力をお願いしたい。
- ・山梨高校や山梨小学校との強歩大会で交流。寄宿舎も地域との交流を増やしていく予定。※山梨高校強歩大会は今年度は中止
- ・図書館や寄宿舎の整備を行った。トイレ、校内道路も整備。

<議事>

(1) 令和7年度ろう学校「学校に関するアンケート」及び学校中間評価について

○学校より説明

○質問

- ・教員の5段階評価についてどのようなになっているのか。
→5：十分達成している 4：ほぼ達成 3：どちらともいえない
2：やや不足 1：不足している
- ・保護者のアンケートは幼稚部から高等部までか
→そのとおり
- ・教職員が記名式か
→そのとおり
- ・保護者のアンケート中で、事務書類が書きづらいという意見があるが、どうわかりにくいのか。
→書式が書きづらい。県の制度の関係もある。
- ・県に要望して見る方法もある。
- ・就学奨励費の関係書類が難しい。幼稚部保護者の送迎関係の書式が難しいと考えられる。年度初めに丁寧に説明をする必要がある。
→記載をするためのサポート(記載例)をしていけるよう検討していきたい。
- ・朝、玄関に先生方がいるということもあがっているので検討しても良いか。
→学部によっては、体制を整えて対応するようにした。
- ・制服の検討はどのようなになっているか。
→生徒総会でも話が出ているのですでに検討をはじめている。
- ・保護者にも評価されているのを感じる。具体的な意見が出ていて良い。改善できるところはどんどん取り組んでいきたい。ろう学校の魅力がアンケートから出ている。それを多くの場で伝えていけばよいのではないか。
- ・書類については、県に提言していく必要があるのではないか。保護者の負担を減らしたい。市町村でも見直しが進んでいる。
→今ちょうど、紙面とネットとの狭間。県へ提言していきたい。
- ・重点目標を質問項目にもう少し加えられるとよい。生徒の質問項目が生徒にわかるように工夫したい。
→検討したい。

(2) その他 →特になし

<報告>

(1) 東京2025デフリンピックについて

○学校より説明

○質問等

・パブリックビューイングは周囲に声をかけていいか。

→どのように配信されるかが現段階ではわからない。近くなったらホームページに状況を載せたい。

(2) その他 →特になし

<連絡事項>

(1) 次回の予定 2月25日(水) 14:00～ 第3回学校運営協議会

(2) その他 →特になし

<熟議>

○テーマ：これからのろう学校に期待すること～地域と共にできること～

○出された御意見等

- ・学校の誇れるところ、魅力を、今以上に地域に発信する。
- ・特に防災関係で地域の拠点となってほしい。
- ・福祉事業所との連携。
- ・様々な業種の方々との交流。
- ・手話学習会等の場で学校のことを知ってもらう。
- ・地域のイベントに子どもたちが参加する機会を多く持ちたい（授業とのバランスは気を付ける）。
- ・レクリエーション、スポーツ交流の機会を持つ。
- ・農業体験等、地域の方々と一緒に職業体験をする。
- ・ろう者カフェ。
- ・山梨県の「ハブ」になってほしい。
- ・大野地区内の工場見学。
- ・地域の学校（幼小中高）との交流。

※今回は、コミュニケーションツールである「えんたくん」を使用して、意見交換をしました。それぞれの立場に関係なく、ひざを交えて話をしたことで、非常に盛り上がりました。設定した30分では話したりない・・・といった様子でした。会終了後の給食試食会においても引き続き話題となり、こちらも盛り上がりました。